

各地の話題 気仙沼市

色鮮やかに～花のみち45～

2023年7月7日号掲載



気仙沼市の国道45号気仙沼バイパスは「花のみち45」と呼ばれ、約6kmに渡り沿道の花壇に咲く花々が、ドライバーたちの目を楽しませている。

植栽と花壇の維持・管理は、例年、自治会や学校、市民ボランティアなどが行っていたが、2年前から市の農業委員会も花壇を確保し、植栽を行っている。今年は、6月11日の早朝、委員らが力を合わせて今年で3回目の植栽を行った。

この作業を提案したのは、同市農業委員の畠山盛信さんだ。

畠山さんは、景観植物を植えることで農地の遊休化や荒廃を防ぐ活動をしたと考えており「周囲の理解を得るために、自分たちの景観を育む姿と花の美しさをアピールしていく」と意気込む。

花壇にはサルビアやメランポジウムなどが定植され、色鮮やかな花を10月まで楽しむことが出来る。農業委員会では来年以降も植栽を継続していく。

【記事提供】気仙沼市農業委員会

定植作業の様子



畠山委員（前列右2人目）と委員の方々

